

地域を元気に 日本海新聞ふるさと大賞

地域の活性化やスポーツの発展に顕著な功績があった個人・団体を顕彰する「日本海新聞ふるさと大賞2018」（主催：日本海新聞ふるさと創り事業団、共催：県内各市町村）の表彰式が、3月17日に役場大支所で行われました。

『スポーツ功労賞』は、バドミントンの山根康平さん（米子工業高等専門学校3年・当時）、スキートの小椋久遠さん（大山小学校4年・当時）

が受賞されました。

また、『地域貢献賞』は旧上中山保育所を活動拠点として、文化活動や甲川まつりなどのイベント実施を積極的に行っている「きばらいや上中山」と旧庄内小学校を活動拠点として、ふれあい健康まつりの実施や、旧庄内小学校のグラウンドの芝生化などスポーツ環境の整備にも取り組んでいる「かくわの郷庄内」が受賞しました。

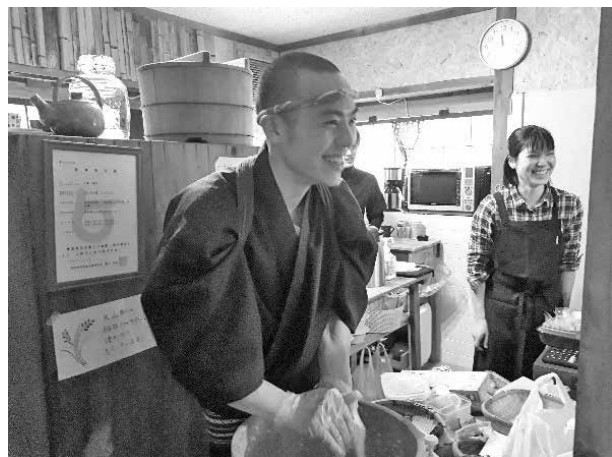


クラウドファンディングで ひとむすび

大山町下市におむすび専門店「おむすび屋ひとむすび」が、3月22日にオープンしました。当日は、地元集落の方々など多くの人でにぎわい、限定50食のおむすび弁当は、開店30分で売り切れるほど。その後も行列がたびたびでき、おにぎり単品も30分以上待ちとなっていました。

おにぎりに使っている米や、具のワカメなどの海産物、味噌は町内産。おむすびに合う塩も研究し、高知県産の天然塩を使っているそうです。初めて食べた方は、「ふわっとしたおむすびは初めて。優しい味でおいしい」「目の前で握ってくれるので、できたてが味わえる。あたたかくておいしい」と好評でした。

創業者の小橋さんは、和歌山県出身で、2年前に大山町にイターン。大山寺周辺のイベントなどで、露店を出店し、おむすびを販売されていました。大山町に専門店を作りたいと、「大山町クラウドファンディング活用創業支援事業」を活用して店舗を整備されました。



*クラウドファンディングとは、プロジェクトを行いたいと企画立案した起案者が、インターネットサイトを通じて、世の中に呼びかけ、共感した人から資金を集める方法です。町内の創業者を支援するため、大山町はクラウドファンディングで調達した資金の1/2（上限50万）を補助する制度を設けています。

令和2年度も、5月以降に大山町ホームページで募集をします。創業を検討中の方は、ぜひご応募ください。